

2024年度大学入学共通テスト・分析表 科目 英語・リスニング

■ベネッセ・駿台共催／データネット実行委員会

— 昨年同様、場面に応じた聞き取りを要する実践的な英語力が問われた。昨年よりやや易化 —

昨年に続き、音声情報とイラストや図表などの視覚情報を組み合わせて答える問題が出題された。場面に  
 応じた聞き取りを要する実践的な英語力が問われた。講義全体を理解する必要がある問題や、放送文から  
 の言い換えに注意が必要な問題もみられたが、全体的に取り組みやすく、昨年よりやや易化。

1. 全体概況

|           |  |
|-----------|--|
| 【大問数・解答数】 | 大問数6、解答数37個は、昨年から変更なし。   |
| 【出題形式】    | 音声情報と図表などの視覚情報を組み合わせて答える問題が昨年に引き<br>続き出題された。日本語で設問の状況が与えられるなど、各場面や目的<br>に応じた聞き取りを要する実践的な英語力が問われた。音声流れる回<br>数も昨年通り。一部の問題で多様な話者による音声も含まれた。 |
| 【出題分野】    | 日常的な発話から説明文や四人の話者による会話まで、多岐にわたるジ<br>ャナル・形式の出題。概要の把握から複数情報の整理・比較・判断まで<br>多面的な資質・能力が求められた。   |
| 【問題量】     | 流れる音声の総語数は昨年よりやや増加。  |
| 【難易】      | 昨年よりやや易化。  |

2. 大問別分析

第1問「短発話・英文／イラスト選択」 (25点・標準)

A・Bともに身の回りの事柄に関する短い発話を聞き、Aでは最も近い意味を示す英文を選ぶ問題、Bで  
 は発話内容に対応するイラストを選ぶ問題が出題された。発話の概要や要点を把握する力が求められた。  
 音声流れる回数はA・Bとも2回であった。

第2問「短い会話・イラスト選択」 (16点・易)

身の回りの事柄に関する短い会話とそれについての問いを聞き、日本語で書かれた場面の情報をもとに、  
 対応するイラストや図を選ぶ問題が出題された。聞き取る情報が限られており、ほとんどの問いが比較的  
 取り組みやすかった。音声流れる回数は2回であった。

第3問「短い会話・Q & A選択」 (18点・標準)

身の回りの事柄に関する短い会話を聞き、日本語で書かれた場面の情報を参考にしながら概要や要点を把  
 握し、問いの答えとして適切なものを選ぶ問題が出題された。聞き取った複数の要素から選択肢を総合的  
 に判断する必要があった。音声流れる回数は1回であった。

第4問「モノローグ・図表／条件選択」 (12点・標準)

Aの問18～21では、イラストを時系列順に並べ替える問題が出題された。問22～25では、夏季講座のスケ  
 ジュールに関する話を聞き、表の中の空欄を埋める問題が出題された。Bでは、文化祭の出し物を決める  
 ために四人のクラスメートの話を聞き、与えられた3つの条件に最も合う候補を選ぶ問題が出題された。  
 複数の情報を整理し、組み合わせて判断することが求められた。音声流れる回数はA・Bとも1回であ  
 った。

第5問「講義・ワークシート完成」 (15点・標準)

ガラスについての講義を聞き、昨年と同様にワークシートを完成させたり、与えられたグラフを参考に講  
 義全体の内容と一致するものを選んだりする問題が出題された。概要や要点をとらえることや、聞き取  
 った情報とグラフから読み取れる情報を組み合わせて判断することが求められた。音声流れる回数は1回  
 であった。

第6問「会話文・Q & A／内容把握」 (14点・標準)

Aでは、英仏海峡を渡る交通手段についての二人の会話を聞き、それぞれの話者の主張や結論を選ぶ問題  
 が出題された。Bは、四人の学生が新年の誓いについて語り合っている場面の会話を聞く問題。挫折せ  
 ずに継続しやすい運動を提案することを条件に、時間はかかるが穏やかな運動を選ぶ人を特定したり、ある  
 話者の考えの根拠となる図表を選んだりする問題が出題された。音声流れる回数はA・Bとも1回であ  
 った。

3. 過去5カ年の平均点 (大学入試センター公表値)

|     |       |       |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 年度  | 2023  | 2022  | 2021  | 2020  | 2019  |
| 平均点 | 62.35 | 59.45 | 56.16 | 28.78 | 31.42 |